

令和8年6月30日

TEL・FAX 0954-66-3113

発行責任者 江口 常雄

き ず な

す 住 み よ い げん き な みどり の さと おお くさ の 野

4年生 ホタルの幼虫放流体験 (6月15日：月曜日)

私たちコミュニティのGメンは、予定時間より少し早く現地に行き、13日土曜日に草刈りを済ませた場所の掃き掃除や幼虫を配る準備などをしながら、子ども達の到着を待っていました。

3年連続で、市の補助事業である、「きらり、ブラッシュアップ事業補助」を受けて、人工池が完成しました。ホタルのための事業なので、まさに「きらり」とホタルが輝いてほしいと思います。この幼虫放流事業のお



世話をしていただいている一ノ瀬俊孝(角ノ谷区)さんから放流の際の注意をしてもらったあと、それぞれ子ども達が幼虫を入れた紙コップを持って、全員でカウントダウンして、人工池に放流しました。

そのあと、エサになるカワニナも池の中に入れて、ホタルがたくさん飛び交ってくれるようお願い

しました。人工池の中には、オタマジャクシやアメンボ、イモリなど、すでに色々な生き物が棲んでいて、放流のあともしばらくは池の中を覗き込んで楽しそうにはしゃいでいました。

あとは、来年を楽しみにするばかりです。コミュニティでは、以前行われていたホタル観賞会が復活できないか、と思っています。

引き続き<生態学習> 螢の幼虫観察

毎年、この授業で悪戦苦闘するのが、幼虫にピントを合わせることです。動き回る幼虫を、あの小さな枠の中に収めることはとても難しいのです。それでも、あのエイリアンの姿を子ども達に見せたいために必死に頑張ります。去年も書きましたが、教育委員会の方、1台でいいので、簡単にセットできて、みんなで大きな画面で見られるような顕



見えん！どこにおっかにゃ？

微鏡を買ってください！以前おられた女性の校長先生の幼虫を見られたときの悲鳴がまだ耳に残っていますが、顕微鏡を覗き込んで見たその幼虫を、毎年、子ども達が絵を描いてくれます。どんな風を書いてくれたのか見て回っていると、今年は、格別に絵の上手な男の子を発見しました。私の長女は、お絵かきが大好きでした。今は、施設で絵の指導を仕事にしています。「好きこそものの上手なれ」、ですね。学校で子ども達を見ていると、新しい発見や驚きがあつて。子どもの観察は面白いです。



きゃあ〜！イモリ怖い！

R8 2回目 防災広場・ホタル人工池 草刈 (6月13日:土)

この日、7人の草刈隊員が集合しました。いつものことながら、早い人は集合時間より30分も早く来てくれます。予定が早まり、ホタルの幼虫放流が月曜日に行われるので、参加の皆さんには、そのことを伝え、いつものようにケガが無いようにと、会長からお願いしてもらって、いざ出動です。



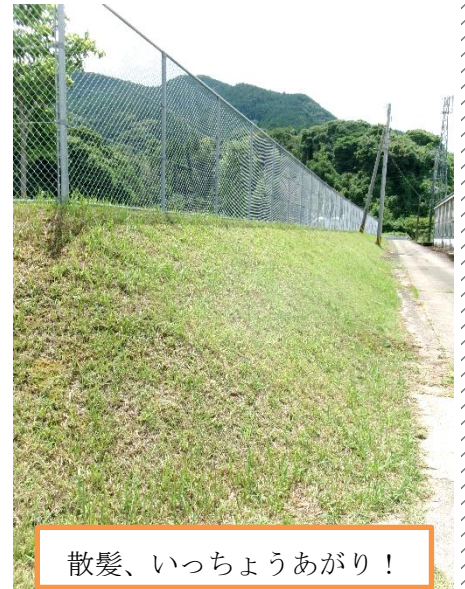
まず、ホタル人工池から攻略します。前回より2名少なかったもので、その分少し時間がかかりましたが、長くなった髪を切ったときのように、さっぱりしました。特に、ホタル幼虫放流に支障が無いように、池の周りは丁寧に草を刈って行きました。しばらくの給水タイムの後、防災広場へ移って、いざ再開です。こちらの方は、前回ほど雑草が伸びて

いなくて、いつもよりスムーズに作業が出来ました。

10時半過ぎには作業を終了し、次回の作業予定などを話して、解散しました。学校グラウンドの法面の草刈も前回のようにしたかったのですが、午前中には終わらなさそうでしたので、今回は断念しました。また、機会を見てやりたいと思います。次の予定は、7月最後の土曜日です。



草刈隊員は、随時募集しています、参加可能な方は、大草野コミュニティ事務局(0954・66・3113)までご連絡ください。



散髪、いっちょうあがり！

新幹線嬉野温泉駅 清掃ボランティア (お知らせ)

期日：7月19日(日曜日) 10:00～

当番部会:公民館活動部会、青少年育成部会

(小学生・中学生の参加、大歓迎です！)

嬉野市に来ていただく方を、気持ちよくお迎えするために
みんなで駅をキレイにしませんか！

・・・駅西側の「うれしのまるく」前の広場に9:45までに集合・・・
雑巾、ホウキなどはそれぞれご持参ください！

〈編集後記〉

「誰のための文書なのか？」

現在、私は、新聞程度なら裸眼で読め、通常の業務でも眼鏡をかけないでやっている。ところが、最近、いろんなジャンルの文字が全体的に小さくなっていくと思う。通販で取り寄せる商品の宛名などは、最たるもので配達の人が読めるのか？と心配になるくらいだ。

私の仕事の範囲で最も文字が見えにくいのは、労働保険の保険料の申告書だ。パソコンで打ち出された文字は黒色だが、様式自体の文字がぼんやりした赤色で、小さ過ぎて、普通あれば読めないと思う。これを読むために、安いルーペを買ったが、大きさが不十分だし、拡大の倍率も小さく、何度も見直してしまう。

そんなことを繰り返していると馬鹿々々しく感じ、「これは、電子申請をさせるための、厚生労働省の企み、または嫌がらせに違いない！」と思いついて、ルーペの使用をやめた。

最近、市役所の文書も「標準化システム」というものに移行されて、その流れの中で文字まで小さくなっていく。何のための標準化なのか検索してみると、「行政の効率化と住民サービスの向上」のためらしいが、家に届いた納税の通知書を見れば、文字が小さく、様式も分かりにくく、「誰に読ませたい文書ですか？」と問い返したくなる。少なくとも住民はサービスが向上したとは思わないはず。国は、財力を物を言わせ、自分の仕事の都合を地方に押し付けているかのようだ。